

さえずりから種分化を探る

はまお しょうじ
濱尾章二

よく似た生物はどこがどのくらい違っていたら、別の種と呼ぶのでしょうか？ いろいろな考えがありますが、お互いの間に子ができないこと、つまり生殖隔離が生じていることは種を分ける重要なポイントです。

しかし、たとえば飼育下では繁殖しない鳥などの場合、異なる地域に棲んでいるものどうしが交雑できるかどうかを調べることはできません。異所的に分布する生物で、生殖が隔離されているかどうかを調べることは一般に困難で、種分類での大きな問題になっています。

小鳥は、さえずりによって種を認識します。異なる種と認識すれば配偶しません。そこで、私は、さえずりを種の分類に役立てたり、さえずりによって種が分化するしくみを考えたりしようと研究を進めています。



いろいろな島で



シジュウカラ



シジュウカラ



ヤマガラ



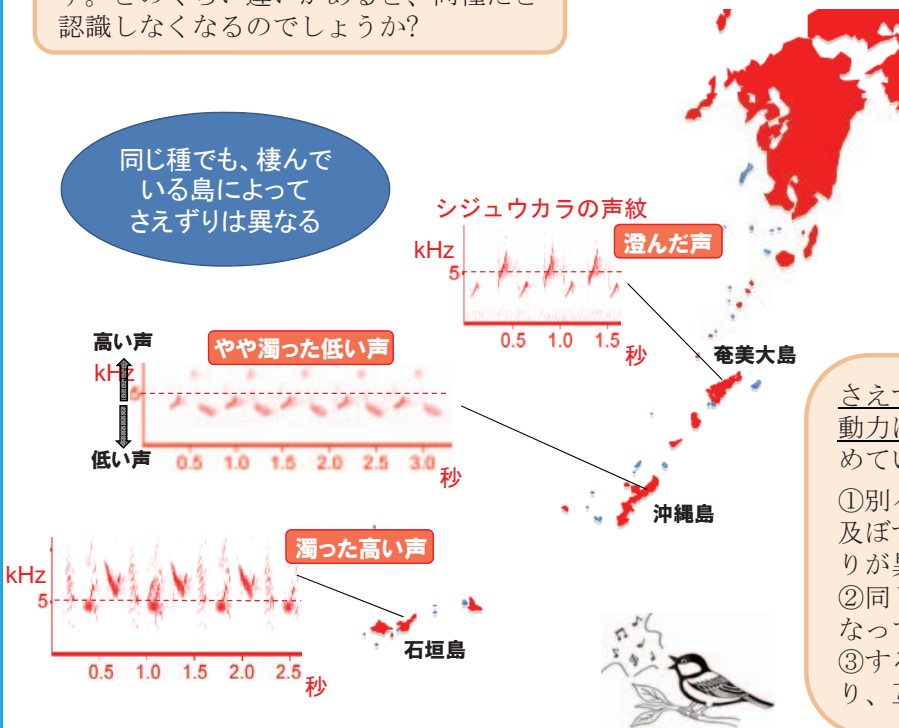
声を録音します

同種の異なる集団や

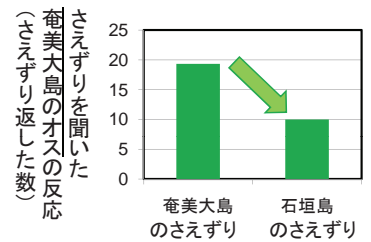
近縁の別種を対象に

同じ種のさえずりにも地域差があります。どのくらい違いがあると、同種だと認識しなくなるのでしょうか？

同じ種でも、棲んでいる島によって
さえずりは異なる



シジュウカラでの野外実験



よそのさえずりにはあまり反応しない

さえずりの地域差は、種が分化していく原動力になるのではないかと考え、研究を進めています。たとえば……

- ①別々の地域では、音の伝わり方に影響を及ぼす森林構造や、他種との関係でさえずりが異なるので
- ②同じ種でも地域によってさえずりが異なってくる。
- ③すると、同じ種であると認識できなくなり、互いに生殖が隔離される。 などと



海を渡り



空を飛び



島から島へ



いろいろな生き物と出会いながら



調査を続けます